

○平成30年度 財政健全化比率

(単位:%)

比率	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
	—	—	5.9	—
早期健全化基準	12.96	17.96	25.00	350.00
財政再建基準	20.00	30.00	35.00	—

※曾於市においては、実質赤字比率と連結実質赤字比率、及び将来負担比率がないため、「—」と記載しました。

※健全化の状況を判断するため、早期健全化基準と財政再建基準を掲載しました。

○平成30年度 資金不足比率

(単位:%)

会計名	
水道事業会計	—
公共下水道事業特別会計	—
生活排水処理事業特別会計	—

※資金不足比率がないため、「—」と記載しました。

※経営健全化基準(経営健全化計画の策定義務が生じる)は20%です。

平成30年度決算に基づき算定された曾於市の健全化判断比率及び資金不足比率は、上表のとおり、すべて基準を下回りました。ただし、曾於市の財政が厳しい状況であることには変わりなく、これからも行財政改革を徹底して行ってまいります。